

平成26年度納税表彰式

11月13日、アミューズメント佐渡で、平成26年度の納税表彰式が行われ、申告納税制度の普及・発展や租税教育の推進などに尽力された次の方々が表彰されました。

— おめでとうございます —

★佐渡税務署長表彰

藤崎一郎さん（佐渡法人会）

★租税教育推進校税務署長感謝状

市立佐和田中学校

中学生の税についての作文

市内の11校から251編の応募があり、その中から選ばれた入選者です。

★関東信越国税局長賞

小林 建さん（真野中3年）

★佐渡税務署長賞

相田 恵さん（畑野中3年）

中川 すすきさん（両津中2年）

★新潟県佐渡地域振興局長賞

山本悠季さん（内海府中1年）

★佐渡市長賞

臼杵隼汰さん（前浜中2年）

佐藤友香さん（松ヶ崎中3年）

三條侑威さん（佐和田中3年）

★佐渡市教育長賞

遠藤正義さん（真野中3年）

大平理佳さん（佐和田中3年）



平間大輝さん（前浜中2年）

平間 遼さん（前浜中2年）

★佐渡税務団体連絡協議会長賞

島倉吾侑さん（真野中3年）

★全佐渡納税貯蓄組合連合会長特別賞

川端幹也さん（前浜中3年）

石塚千尋さん（金井中1年）

★全佐渡納税貯蓄組合連合会長賞

菊池幸喜さん（両津中2年）

寺尾真優さん（赤泊中3年）

樋口拓海さん（高千中2年）

★作文募集協力校全国納税貯蓄組合連合会長感謝状

市立相川中学校

関東信越国税局長賞

税について理解して思ったこと

真野中学校3年 小林 建



僕が、以前税に対して抱いていたのは「何故支払わなければならないのだろう？」

「税金なんて、なくてもいいのではないかな」という少し否定的な意見でした。このような考え方には、僕に税の知識があまりなかったことだけでなく、僕の経験も少なからず関係していました。

僕はある時、家の留守番をすることに、親から弁当代を渡されました。ところが、いざ買おうとしてみるとその金額にたつた1円だけ足りなかったのです。その時の僕は「税金がなければな…」と少し八つ当たり気味に思いました。このことを残念に思い、この時から前述のような意見をもつようになったのです。

しかし、そんな考え方も変わるような機会がありました。少し前に学校であった「租税教室」という集会です。その時に、税務署の方から税に関して色々教えていただいたのですが、そのお話を様々なことがわかり、わかったことによつて僕の税への意識はかなり変わりました。

まず、税の種類を聞きました。購入したものの金額の8%を支払う消費税、給料の額に応じて納める所得税などは知っていましたが、酒税、たばこ税、ゴルフ場利用税など、意外なものもあり、驚きました。

他に、税金がどのようなことに使われているのかも聞きました。税金は、道路を補修したり、ゴミを処理したりする公共事業のために使われていることを知りました。また、僕たちの教育や警察、消防にも使われていることもわかりました。他にもたくさんの方がわかりました。他にもたくさんの方がわかりました。他にもたくさんの方がわかりました。

もし税がなかったら、ゴミは回収されず、事件や事故が起こっても警察は動いてくれません。こうして、世の中は不便になっていくでしょう。確かに、税金を納めなければならぬのもそれはそれで不便かもしれないけど、やっぱり税がない方が大幅に大変なのではないでしょうか。

そして、僕の税に対する考え方は大きく変わりました。僕たち国民のために使われているのなら、あつてもしかたがないと思えるようになりました。

これからは、税は自分たちにも深く関わっていることを忘れないようにして、国民の一人として、税ときっちり向き合っていきたいです。